
世界で一番、優しい魔人

まいるど せぶん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界で一番、優しい魔人

【NZコード】

N2351BA

【作者名】

まいるど せぶん

【あらすじ】

倫理感の欠如した『冷酷な』少年、暮井雄は、ある日一冊の魔導書を見つける。

ものは試しと、そこに記された召喚術を試してみた雄は、儀式の手順を間違え、逆に自分が異世界へ召喚されることになった。

召喚の魔方陣を通つたことで、悪魔の力を得た雄は、魔人と呼ばれる存在になり、暴れまくる。

しかし、悪の象徴であるはずの魔人の中では、現代日本という環境で育つた雄は、断トツで人間に優しかった。

優しくない少年は、なぜか『優しい魔人』として名聲を得ることになる。

幼い時分より、よく「人としての倫理観が欠如している」と評されたものだった。

要するに俺様は、優しさといつもつを他の人間とは違った次元でしか持ち合わせていないらしい。

もちろん、理屈の上では理解できる。悪口を言えば傷つく。傷つくのは嫌だ。だからダメだ。そんなことは、嫌というほど教わった。だから、理性的に生きる限りにおいては、俺様とて大きな問題は起こしていない。

虫くらいなら迷わず殺すが、どうせ山キブリなんぞいへら殺そうが、誰も俺様を恨まないだろ？

「……あん？ なんだこれ」

そんな俺様だが、家はヤクザでも何でもなく、それどころか由緒正しいお金持。

なんとなく——本当に、何の意図もなく、家の倉庫を漁っていると、革の表紙で設えられた、古くさい本が目を引いた。

「これ……もしかして、人間の皮膚を加工してんのかあ？ いくら何でも、俺様でもこれは趣味が悪いと思つが……こんなもんを保管してるのは、親父も俺様を説教できる義理はないな」

表紙に文字はない。出版物ではなさそうだ。

とりあえずパラパラとページを捲つてみると、どうも外国语で書かれたものらしく、文字は読めなかつた。

読めないどころか、上手すらわかんねえ。

仕方なく、放り投げようとしたところで、挟まっていたらしいメ

モ用紙がはらりと舞い落ちる。

傷んだ髪だが、こちらは手書きの英語で走り書きされており、多少は読み解くことができた。

「なになに……呪喚術？ 騎士……悪魔……エリゴール？」

要約すると。

この本は呪喚術について記された魔導書で、このメモに書いてある儀式を行うと魔術が行使できるらしい。呼び出せるのは、エリゴールとかいうどこのティッシュのよつな名前をした、騎士の姿の悪魔。

実のところ、俺様はオカルトの類いは嫌いではない。むしろ、圧倒的な未知の力で人を蹂躪してみたい。だから。

暇潰しこ、ここに書いてある内容を訳して、エリゴールとやらを召喚してみようと思った。

メモが挟まっていたページに描かれた魔方陣。図解を見る限り、ベビの血を使って描くらしい。

「ま、人生何事もチャレンジだよな」

たぶん、社会的にはチャレンジしてはならない方向性なのだろうが。

俺様は、とりあえずベビをビードで盗み出すかを考えることにした。

——このとき、俺様は知らない。

わけのわからぬ外国語に苦戦した結果、儀式の手順を間違え。

ヒリゴールではなく、俺様自身が召喚の魔方陣を通り抜けてしまうことを。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2351ba/>

世界で一番、優しい魔人

2012年1月5日23時48分発行